

会 議 録

会 議 名	山陽小野田市環境審議会	
開 催 日 時	平成 2 9 年 1 1 月 2 4 日（金） 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 5 0 分	
開 催 場 所	山陽小野田市役所 3 階 大会議室	
出 席 者	中尾勝實会長、竹永満委員、三上真人委員、今井剛委員、大森弘文委員、上田忠良委員、嶋田正平委員、山本シゲ子委員、小柳敬夫委員、藤井洋二委員、西田雄二第二副会長、大田和義委員、荒巻忠伸委員、仁保享委員	
欠 席 者	芳原達也委員、西村公一第一副会長、河村芳高委員、西村広司委員、川上聡委員、川満康弘委員、中村誠一委員、岡本耕司委員、久保恒晃委員、山下孝雄委員	委員数 2 4 人 出席者数 1 4 人 欠席者数 1 0 人
事 務 局 等	市長 藤田剛二、市民生活部長 城戸信之、市民生活部次長兼環境課長 深井篤、環境調査センター所長 山下貢治、環境課課長補佐 湯淺隆、環境課係長 縄田誠、環境課技師 岡田友香、環境課再任用 佐久間昌彦	
会 議 次 第	1 辞令交付 2 市長あいさつ 3 会長及び副会長選出 4 会長あいさつ 5 副会長あいさつ 6 議事 （報告事項） （1）戸田工業株式会社小野田事業所における 2 次電池用正極材料生産設備（W工場・O工場）増設に伴う環境保全対策について （2）株式会社オートテクニカにおける A S S Y ・塗装棟増設に伴う公害防止対策について （3）日産化学工業株式会社小野田工場における新規農薬製造設備新設に伴う環境保全対策について	

	<p>(4) 日本化薬株式会社厚狭工場における化学品製造工室移設及び増設に伴う環境保全対策について</p> <p>(その他)</p>
<p>会議内容</p>	<p>○報告事項(1)～(4)についての説明後、質疑応答</p> <p>(1) (報告事項) 戸田工業株式会社小野田事業所における2次電池用正極材料生産設備(W工場・O工場)増設に伴う環境保全対策について</p> <p>【委員】</p> <p>26ページ、水質汚濁防止対策の第2パラグラフぐらいのところに、既設の施設の改良を検討した結果、機能の向上により、300m³から245m³に変更して、それによって増加分を吸収するため水量的には増加しないという説明をいただいたと思うが、そのような理解でよろしいか。</p> <p>【戸田工業】</p> <p>そのとおりである。</p> <p>【委員】</p> <p>水量は担保できたとして、水質の担保はどういうふうになるのか。</p> <p>【戸田工業】</p> <p>今回の増設分の排水は、排ガス中の二次汚染を防止するために、除じんするためのスクラバーの排水はあるが、基本的にはクーリングタワーの蒸発水がメインで、その中には粉じん等が含まれるものではない。水量は増えているが、このスクラバーとクーリングタワーの排水で、水質の変動はここからは発生しないと考えている。</p> <p>【委員】</p> <p>逆に希釈されるというイメージか。</p> <p>【戸田】</p> <p>そのとおりである。</p>

【委員】

管理体制のところを確認をしたい。大気関係については管理者と代理者を定めているが、水質関係については特に管理者と代理者を定めていないのか。

【戸田工業】

弊社は戸田工業小野田事業所内にあり、その中に増設しており、総合排水処理施設に関しては、戸田工業が所有しているところに我々が共用させていただく形である。我々の公害防止対策としては1名公害防止担当者を配置しているが、実際には戸田工業のほうで公害防止管理者等を別途配置している。

【会長】

4 ページで工事予定期間のタイムテーブルがある。工事は計画通り順調に進んでいるか。まだ操業には至っていないのか。進行状況を教えていただきたい。

【戸田工業】

工事の方は予定通り進んでおり、一部先行した工事の方は操業を開始している。

【会長】

3 ページに生產品目および生産量の現状、計画後の数値表があり、現状より生産量がW工場で5～6倍、O工場で約6.4倍になる。これだけ生産量が増えて、最後の廃棄物の処理量はどうなるのか。

【戸田工業】

基本的には廃プラスチックと、W工場においてバッチ式焼成炉で使用する焼成用セラミックスを定期的に交換する必要があり、この消費量がアップしている。

【会長】

生産量ほどは増えないのか。

【戸田】

そこまでは増えない。

(2) (報告事項) 株式会社オートテクニカにおけるASSY・塗装棟増設に伴う公害防止対策について

【委員】

資料の23ページの「2. 水質汚濁防止対策」のところで、この設備は第3工場で生産している設備のランニングチェンジということなので、排水量及び水質の変動はなしということか。

【オートテクニカ】

そのとおりである。

【委員】

第1工場については下水処理区であるため、下水道への放流ということなので、2系統排水が出る形になるのか。

【オートテクニカ】

既存の塗装設備があり、そちらは現在下水処理区域になっていない。現在建設している塗装設備においては下水処理区域となるので、下水への放流となる予定で、既存の塗装設備については廃止するという形になる。

【委員】

第3工場のところがなくなり、新たに第1工場の方で新設され、そこは河川放流ではなくて下水放流ということならば、表6は現行との比較ではなくて今から行うところの予定ということか。

【オートテクニカ】

そのとおりである。

【委員】

水質は、一般的にここまで下げる必要があるのかというところで、BODでいえば条例は600以下だが、200まで下げないといけないものなのか。かえって薄まり過ぎではないかと思う。

【会長】

表6で、排水量のデータがどこかにあるのか。この表は水質の内容となっている。排水量は現状と変わらないということだが、排水量の

数値があるのか。

【オートテクニカ】

排水量は記載していない。

【会長】

排水量の現状の数値がないので、データを追加していただきたい。

【オートテクニカ】

了解。

(3) (報告事項) 日産化学工業株式会社小野田工場における新規農薬製造設備新設に伴う環境保全対策について

【委員】

管理体制について、33ページに組織図が載っているが、この中の管理者と代理者は、試験合格者または技術士、環境計量士の方が担当していると考えてよろしいか。

【日産化学工業】

全て試験の合格者が担当している。

【委員】

化学分野の技術士の方はいるのか。

【日産化学工業】

化学分野の技術士はいない。

【会長】

16ページの大気汚染防止対策で、工場全体のばい煙排出量について変動がないということだが、加熱源としては主に何を使われるのか。

【日産化学工業】

スチームがメインになる。

【会長】

工場全体として増産になるので、その分スチーム源が増えて、ばい煙量が増えるかと思うが、それはどう考えたらいいのか。

【日産化学工業】

既存の工場でこの銘柄だけを製造するわけではなく、他の銘柄も切り替えて製造するような形になる。その結果、使用する熱源については、既存の工場と比較して減少するような形になるので、特に変動することはない。

【会長】

地球温暖化がらみで言うと、省エネ及び省資源というのが工場としては非常に重要なポイントだが、現在のところスチームは増えないが、このような新設にあたって、どんな工夫をされているか紹介できるところがあればお願いしたい。

【日産化学工業】

大々的に紹介するものはないが、可能な限り省エネ設備を入れたりして対応している。

【会長】

工場全体を見直したらというようなことで、先ほどお答えされたような、スチームの量が減る、といったようなものはないか。

【日産化学工業】

最初の製造方法で説明したとおり、なるべくリサイクルをするという観点で、省資源を行っている。

【会長】

他の企業で何かアピールするところがあったら教えていただきたい。

【日産化学工業】

スチームを結構使うので、保温が悪いとそれだけでもスチームが衰えるため、それに対してはどこの保温が悪いのかを定期的に見ている。また、スチームトレイについても一部は回収することにより、スチームのロス量を削減するような方向で行っている。また、熱交換器等の設計においては、適正な設計を常に心がけるようにし、工場としてもなるべくスチームの使用量を削減したいので、コツコツとやっているのが現状。

(4) (報告事項) 日本化薬株式会社厚狭工場における化学品製造工
室移設及び増設に伴う環境保全対策について

【委員】

計測監視体制について、29ページに測定者というのがあり、この
測定者の中に地域住民というのが入っているが、臭気を随時測定する
ものなのか。この随時というのはどのくらいの頻度で測定してくれる
と考えておられるか。あるいは、どのようなシステムになっているの
か。

【日本化薬】

臭気モニターということで、地域住民の方に年間を通してお願いを
しており、臭気を感じたときにご一報いただくというようなやり方
である。臭気はその時でないとはわからないので、その時にどこからど
ういうふうな臭気がするか、調査することとしている。

【委員】

電話やメールで知らせるのか。

【日本化薬】

電話をいただくようにしている。

【委員】

今の表のところで、臭気強度と記載すると、誤解を招くと思うので、
今言われたように、臭気モニターであれば臭気モニターと書かれたほ
うが良い。強度というの是一般の人にとっても測れるものではない。

【会長】

29ページの一番最後の行に川西工場と記載されているが、これ
でいいのか。

【日本化薬】

川西、川東工場の両方である。

【会長】

資料の中に取扱う物質のテーブルがあって、かなり化学物質を扱わ
れており、生産量からこれだけの化学物質を取扱わないといけないの

だろうが、一般的な化学工場の量としては多くないのか。

【日本化薬】

化学工場として決して多い量ではない。

(その他)

委員からの質疑なし

【事務局】

会長さんはじめ委員の皆様、慎重審議ありがとうございました。これを持ちまして山陽小野田市環境審議会を閉会いたします。

・・・・・・・・午後2時50分、審議会終了・・・・・・・・